

がん教育に係る文部科学省及び千葉県教育庁の取組

1、がん教育教材

(1) 文部科学省

「がん教育推進のための教材」— (参考資料 2 - 3)

「がん教育プログラム補助教材」— (参考資料 2 - 4)

(2) 千葉県

「がん教育プログラム」モジュール活用例— (参考資料 2 - 5)

「中学生用リーフレット」— (参考資料 2 - 6)

2、授業実践研修会

(1) 実施校

令和元年度—銚子市立第七中学校—日本医科大学千葉北総病院の看護師

習志野市立第五中学校—東京歯科大学市川総合病院の看護師

県立茂原高等学校—茂原市保健師

(2) 実施の概要

＜実践研修会当日の流れ＞

- ・教室にて1クラス単位で授業を展開
- ・授業後に授業者、外部講師、授業見学者と全体協議会

それぞれの校種、発達段階に合わせて講師の方々には授業を展開していただき、児童生徒も理解しやすいとの意見を多くいただいた。

今後、外部講師を活用したがん教育を浸透させる為に、実際の授業実践の様子や成果を各学校に周知していく。

3、がん教育実施状況調査

平成29、30年度千葉県のがん教育実施状況及び外部講師活用状況について

— (参考資料2-7)

(1) がん教育を実施した校数

- ・平成29年度：568校（46.3%）
- ・平成30年度：643校（52.1%）

(2) 外部講師を活用した校数

- ・平成29年度：51校（9.0%）
- ・平成30年度：77校（12.0%）

(3) 外部講師活用の今後の課題

- ・講師との事前打ち合わせの必要性
 - ・平成29年度：20校
 - ・平成30年度：28校

(4) 外部講師を活用して効果的だった点

- ・健康と命の大切さについて主体的に考えることができた
 - ・平成29年度：38校
 - ・平成30年度：51校

(5) 外部講師を活用しなかった理由

- ・教師が指導しているため
 - ・平成29年度：320校
 - ・平成30年度：489校

(6) がん教育を実施しなかった理由

- ・指導時間が確保できなかった
 - ・平成29年度：399校
 - ・平成30年度：357校